

# 事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	7803	(H.22)No.	
-----------	------	-----------	--

事務事業名 <b>収塵車管理費(経常分)</b>			
担当部局名	担当室名	室長名	連絡先
伊賀南部衛生組合事務局	業務室	酒井 隆郎	0595-53-1120
新・継	事業期間	根拠法令等	
継続	平成 年度 ~ 平成 年度		

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
特別及び企業会計、組合	

## 1. 事務事業の位置付け

総合計画	政 策	2 美しい自然に包まれた、憩いと潤いのある暮らし
	基本政策	2 循環型社会の創造
	施 策	3 廃棄物処理
	小 施 策	1 ごみの適正処理
	重点施策コード	

## 2. 予算区分

会計区分	事業コード	901101
伊賀南部環境衛生組合一般会計	(中事業名)	予算書事業名
款 環境衛生費	収塵車管理費	
項 清掃費	(小事業名)	
目 収塵車管理費	収塵車管理費(経常分)	

## 3. 事務事業の概要

事業概要
管内の燃やすごみ、燃やさないごみ、資源ごみの収集をはじめ粗大ごみ受付センターで集約された粗大ごみの各戸収集など、市民ニーズに対応した収集を実施。

めざす効果(事業目的)
<ul style="list-style-type: none"> <li>収集業務の一部民間委託するなど、ごみの排出状況や資源ごみの排出量に応じた効率的な収集体制の再編</li> <li>ごみの適正な排出及び減量化を図る。</li> </ul>

## 4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成22年度 (実績・決算見込)	平成23年度 (計画・作成時予算額)	現在の実施手法(複数選択可)			
	主な事業の実績・計画	[事業内容(事業量)・事業費] ・ごみ収集(直営11台、委託21台)...可燃ごみ(一部)、不燃ごみ(一部)、容プラ、粗大ごみ、資源ごみの直営収集  <委託> ・可燃ごみ・不燃ごみ収集業務委託 143,493千円 ・指定ごみ袋製造管理業務委託 32,289千円 ・指定ごみ袋手数料収納事務委託 8,107千円 ・粗大ごみ収集受付業務委託 4,610千円	[事業内容(事業量)・事業費] ・ごみ収集(直営11台、委託15台)...可燃ごみ(一部)、資源ごみ、不燃ごみ、容プラ、粗大ごみ、の直営収集  <委託> ・可燃ごみ・資源ごみ収集業務委託 155,565千円 ・指定ごみ袋製造管理業務委託 31,000千円 ・指定ごみ袋手数料収納事務委託 8,100千円 ・粗大ごみ収集受付業務委託 4,650千円	市が直接実施 業務委託(全部・一部)により実施 指定管理 補助金・交付金 その他 ( )	平成24年度 (計画)	平成25年度 (計画)
直接事業費	214,467千円	231,335千円	228,615千円	253,115千円	253,115千円	
財源内訳(千円)						
国庫支出金						
県支出金						
地方債						
その他( )	124,430	123,880				
一般財源	(0) 90,037	107,455	228,615	253,115	253,115	
人工数						
職員	28.18人	22.18人	20.40人	20.40人	20.40人	
臨時職員等	2.50人	2.50人	2.50人	1.50人	1.50人	
概算人件費	(0千円) 209,964千円	166,164千円	153,170千円	151,470千円	151,470千円	
+ 総事業費	(0千円) 424,431千円	397,499千円	381,785千円	404,585千円	404,585千円	

概算人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成22年度の( )内の数値は、21年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。企業会計の財源内訳の一般財源欄は、一般会計繰入金を記載しています。平成24年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

### 5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24	
活動指標	目標	可燃ごみ収集量	トン	13,014	11,597	11,427	11,397	11,368.0
	実績			10,860	10,602	10,443		
活動指標	目標	不燃ごみ収集量	トン	1,857	1,612	1,580	1,576	1,572
	実績			652	669	675		
	目標							
	実績							
考察及び今後の対応方針		・スムーズに民間委託へ移行できる体制の構築						

### 6. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
・清掃業務員の退職不補充による、収集業務の民間委託への段階的移行を図る。	

### 7. 担当室による点検【事務事業をより良く(最適化)するために】

(1) 協働の取組(「新しい公」の推進)	
協働等は実践していますか <input type="text" value="実践していない(適当ではない)( へ)"/>	協働等の主な相手先について <input type="text"/>
協働等の主な形態について(現在および今後の可能性) <input type="text"/>	協働等の今後の取組について <input type="text" value="市が直接実施"/>
備考欄(工夫・改善等を記載)	
(2) (現在の事業費の範囲で) 効果を高める方法や工夫等を、さらに図ることができますか <input type="text" value="検討の余地がある"/>	・ごみの排出状況に合わせた収集体制の再編など
(3) 事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を図ることができますか <input type="text" value="検討の余地がある"/>	・新計画の実施や現行の計画見直し時等において、当初から収集体制や処理処分を含めた検討が必要である。
(4) 新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図ることができますか <input type="text" value="検討の余地がある"/>	
(5) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか <input type="text" value="検討の余地がある"/>	・ごみの適正排出や分別の市民向け啓発資源ごみの分別方法の再編にかかる検討。

### 8. 今後の事務事業の方向(点検を踏まえた担当室による内部評価)

<b>総合評価(事業の展開方法)</b> <input type="text" value="継続(事務改善)"/>	特記事項
(1) 短期的な(平成23年度)事務事業の工夫・改善など ・市民ニーズにより的確に対応出来る職員の資質向上等	
(2) 「継続(現行)」の理由、中長期的な(平成24年度以降)事務事業の工夫・改善など ・清掃職員の退職不補充による民間委託の推進	

# 事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	7804	(H.22)No.	
-----------	------	-----------	--

事務事業名		最終処分場費(経常分)			
担当部局名		担当室名		室長名	連絡先
伊賀南部衛生組合事務局		業務室		酒井 隆郎	0595-53-1120
新・継	事業期間		根拠法令等		
継続	平成	年度 ~	平成	年度	

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
	特別及び企業会計、組合

## 1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	2	美しい自然に包まれた、憩いと潤いのある暮らし
	基本政策	2	循環型社会の創造
	施策	3	廃棄物処理
	小施策	1	ごみの適正処理
	重点施策コード		

## 2. 予算区分

会計区分	事業コード	902101
伊賀南部環境衛生組合一般会計	(中事業名)	予算書事業名
款	環境衛生費	最終処分場費
項	清掃費	(小事業名)
目	最終処分場費	最終処分場費(経常分)

## 3. 事務事業の概要

事業概要	
<p>・水処理施設等の適正な運転管理を行う。</p>	

めざす効果(事業目的)	
<p>・水処理施設の適正な運転管理及び施設の維持管理に努める。</p>	

## 4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成22年度 (実績・決算見込)	平成23年度 (計画・作成時予算額)	現在の実施手法(複数選択可)			
	[事業内容(事業量)・事業費] 最終処分場の適切な管理 ・光熱水費 4,094千円 ・薬品費 1,951千円 ・修繕料 3,016千円 ・水質等検査委託料 1,425千円 ・覆土用原材料費 1,624千円	[事業内容(事業量)・事業費] 最終処分場の適切な管理 ・光熱水費 4,344千円 ・薬品費 3,338千円 ・修繕料 3,283千円 ・水質等検査委託料 1,922千円 ・覆土用原材料費 1,813千円	市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理	補助金・交付金
主な事業の実績・計画			平成24年度 (計画)	平成25年度 (計画)	平成26年度 (計画)	
			最終処分場の適切な管理 ・維持管理経費	最終処分場の適切な管理 ・維持管理経費	最終処分場の適切な管理 ・維持管理経費	
<b>直接事業費</b>	<b>13,252千円</b>	<b>17,169千円</b>	<b>15,000千円</b>	<b>15,000千円</b>	<b>15,000千円</b>	
財源内訳(千円)						
国庫支出金						
県支出金						
地方債						
その他( )						
一般財源	(0) 13,252	17,169	15,000	15,000	15,000	
人工数						
職員	1.45人	1.45人	1.42人	1.42人	1.42人	
臨時職員等	1.00人	0.00人	1.00人	1.00人	0.00人	
<b>概算人件費</b>	<b>(0千円) 12,285千円</b>	<b>10,585千円</b>	<b>12,066千円</b>	<b>12,066千円</b>	<b>10,366千円</b>	
<b>+ 総事業費</b>	<b>(0千円) 25,537千円</b>	<b>27,754千円</b>	<b>27,066千円</b>	<b>27,066千円</b>	<b>25,366千円</b>	

概算人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。  
 平成22年度の( )内の数値は、21年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。  
 企業会計の財源内訳の一般財源欄は、一般会計繰入金を記載しています。  
 平成24年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

## 5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
	目標						
	実績						
	目標						
	実績						
	目標						
	実績						
考察及び今後の対応方針							

## 6. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
<p>・平成5年12月締結の処分場設置協定及び平成20年12月取交しの覚書に基づき、最終処分場閉鎖後の跡地整備について、「公園整備」に向けた協議を引き続き進める必要がある。</p>	

## 7. 担当室による点検【事務事業をより良く(最適化)するために】

(1) 協働の取組(「新しい公」の推進)		備考欄(工夫・改善等を記載)
協働等は実践していますか <input type="text" value="実践していない(適当ではない)(へ)"/>	協働等の主な相手先について <input type="text"/>	
協働等の主な形態について(現在および今後の可能性) <input type="text"/>	協働等の今後の取組について <input type="text" value="継続実施"/>	
(2) (現在の事業費の範囲で)効果を高める方法や工夫等を、さらに図ることができますか <input type="text" value="現在の手法が妥当である"/>		
(3) 事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を図ることができますか <input type="text" value="現在の手法が妥当であり、連携や統合は困難である"/>		
(4) 新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図ることができますか <input type="text" value="新たな財源確保や事業に係る負担の見直しは困難である"/>		
(5) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか <input type="text" value="困難である"/>		

## 8. 今後の事務事業の方向(点検を踏まえた担当室による内部評価)

総合評価(事業の展開方法)	特記事項
<input type="text" value="継続(現行)"/>	
(1) 短期的な(平成23年度)事務事業の工夫・改善など	
(2) 「継続(現行)」の理由、中長期的な(平成24年度以降)事務事業の工夫・改善など <p>・管理型処分場にかかる埋立て済みごみの水質等保全管理が長期的に必要となるため、現行どおり継続事業とせざるを得ない。</p>	

# 事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	7805	(H.22)No.	
-----------	------	-----------	--

事務事業名	し尿処理場費(経常分)		
担当部局名	担当室名	室長名	連絡先
伊賀南部衛生組合事務局	業務室	酒井 隆郎	0595-53-1120
新・継	事業期間	根拠法令等	
継続	平成 年度 ~ 平成 年度		

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
特別及び企業会計、組合	

## 1. 事務事業の位置付け

総合計画	政 策	2 美しい自然に包まれた、憩いと潤いのある暮らし
	基本政策	2 循環型社会の創造
	施 策	3 廃棄物処理
	小 施 策	2 し尿・汚泥の適正処理
重点施策コード		

## 2. 予算区分

会計区分	事業コード	902601
伊賀南部環境衛生組合一般会計	(中事業名)	予算書事業名
款 環境衛生費	し尿処理場費(経常分)	
項 清掃費	(小事業名)	
目 し尿処理場費	し尿処理場費(経常分)	

## 3. 事務事業の概要

事業概要
管内のし尿及び浄化槽汚泥を適正に処理する。

めざす効果(事業目的)
浄化センターの適正な運転管理及び施設の維持管理に努めるとともに安全で衛生的な施設運営をはかる。

## 4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成22年度 (実績・決算見込)	平成23年度 (計画・作成時予算額)	現在の実施手法(複数選択可)				
	主な事業の実績・計画	[事業内容(事業量)・事業費] ・施設の適正な管理運用 主な維持管理経費  燃料費 25,974千円 光熱水費 27,017千円 定期修繕等 51,468千円 薬品費 13,237千円 運転管理委託 61,950千円 汚泥処理委託 9,857千円	[事業内容(事業量)・事業費] ・施設の適正な管理運用 主な維持管理経費  燃料費 24,890千円 光熱水費 27,756千円 定期修繕等 52,000千円 薬品費 14,000千円 運転管理委託 62,950千円 汚泥処理委託 10,939千円 精密機能検査 2,529千円	市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理	補助金・交付金
			平成24年度 (計画)	平成25年度 (計画)	平成26年度 (計画)		
直接事業費	194,934千円	200,593千円	198,064千円	198,064千円	198,064千円		
財源内訳(千円)							
国庫支出金							
県支出金							
地方債							
その他( )	7,383	7,200					
一般財源	(0) 187,551	193,393	198,064	198,064	198,064		
人工数							
職員	0.76人	0.76人	0.73人	0.73人	0.73人		
臨時職員等	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人		
概算人件費	(0千円) 5,548千円	5,548千円	5,329千円	5,329千円	5,329千円		
+ 総事業費	(0千円) 200,482千円	206,141千円	203,393千円	203,393千円	203,393千円		

概算人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。  
平成22年度の( )内の数値は、21年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。  
企業会計の財源内訳の一般財源欄は、一般会計繰入金を記載しています。  
平成24年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。



## 5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
活動指標	目標	kl	7,261	5,988	4,344		
	実績				5,471		
活動指標	目標	kl	35,566	39,400	32,266		
	実績				38,506		
	目標						
	実績						
考察及び今後の対応方針							

## 6. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
・施設の老朽化に伴い大規模改修を行わなければならない。	

## 7. 担当室による点検【事務事業をより良く(最適化)するために】

(1) 協働の取組(「新しい公」の推進)	
協働等は実践していますか 実践していない(適当ではない)( へ)	協働等の主な相手先について
協働等の主な形態について(現在および今後の可能性)	協働等の今後の取組について 継続実施
備考欄(工夫・改善等を記載)	
(2) (現在の事業費の範囲で) 効果を高める方法や工夫等を、さらに図ることができますか 現在の手法が妥当である	
(3) 事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を図ることができますか 現在の手法が妥当であり、連携や統合は困難である	
(4) 新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図ることができますか 新たな財源確保や事業に係る負担の見直しは困難である	
(5) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか 困難である	

## 8. 今後の事務事業の方向(点検を踏まえた担当室による内部評価)

総合評価(事業の展開方法)	特記事項
継続(現行)	
(1) 短期的な(平成23年度)事務事業の工夫・改善など	
(2) 「継続(現行)」の理由、中長期的な(平成24年度以降)事務事業の工夫・改善など ・公共下水道の進捗状況に応じた適正な施設運営を行う。	

# 事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	7806	(H.22)No.	
-----------	------	-----------	--

事務事業名	クリーンセンター費(経常分)		
担当部局名	担当室名	室長名	連絡先
伊賀南部衛生組合事務局	業務室	酒井 隆郎	0595-53-1120
新・継	事業期間	根拠法令等	
継続	平成 年度 ~ 平成 年度		

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
特別及び企業会計、組合	

## 1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	2 美しい自然に包まれた、憩いと潤いのある暮らし
	基本政策	2 循環型社会の創造
	施策	3 廃棄物処理
	小施策	1 ごみの適正処理
重点施策コード		

## 2. 予算区分

会計区分	事業コード	903401
伊賀南部環境衛生組合一般会計	(中事業名)	予算書事業名
款 環境衛生費	クリーンセンター費	
項 清掃費	(小事業名)	
目 クリーンセンター費	クリーンセンター費(経常分)	

## 3. 事務事業の概要

事業概要	
<ul style="list-style-type: none"> <li>管内のごみを安全・適切に処理する。</li> <li>可燃ごみの焼却及び不燃ごみの破碎処理、金属等有化物の回収。</li> <li>ペットボトル・容器包装プラスチック等の資源物の再商品化に向けた中間処理。</li> </ul>	

めざす効果(事業目的)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>クリーンセンターの適正な運転管理及び施設の維持管理に努めるとともに焼却に伴う周辺環境への影響を抑制するなど安心安全な施設運営をはかる。</li> </ul>	

## 4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成22年度 (実績・決算見込)	平成23年度 (計画・作成時予算額)	現在の実施手法(複数選択可)			
	[事業内容(事業量)・事業費] ごみ処理業務	[事業内容(事業量)・事業費] ごみ処理業務	市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理	
主な事業の実績・計画	< 主な処理経費 > 消耗品費 8,639千円 燃料費 39,397千円 光熱水費 85,572千円 薬品費 10,046千円 運転管理業務委託 140,910千円 飛灰処理委託 32,010千円 焼却機器類保守点検委託 6,300千円	< 主な処理経費 > 消耗品費 8,300千円 燃料費 55,000千円 光熱水費 87,000千円 薬品費 12,688千円 運転管理業務委託 167,000千円 飛灰処理委託 30,500千円 焼却機器類保守点検委託 5,040千円 精密機能検査等委託 5,509千円	補助金・交付金	その他 ( )		
	平成24年度(計画)	平成25年度(計画)	平成26年度(計画)			
直接事業費	347,913千円	405,972千円	674,163千円	684,163千円	684,163千円	
財源内訳(千円)	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他( )	110,258	99,440			
一般財源	(0) 237,655	306,532	674,163	684,163	684,163	
人工数	職員	16.15人	17.15人	15.37人	14.37人	14.37人
	臨時職員等	2.30人	9.30人	4.30人	4.30人	1.30人
概算人件費	(0千円) 121,805千円	141,005千円	119,511千円	112,211千円	107,111千円	
+ 総事業費	(0千円) 469,718千円	546,977千円	793,674千円	796,374千円	791,274千円	

概算人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。  
 平成22年度の( )内の数値は、21年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。  
 企業会計の財源内訳の一般財源欄は、一般会計繰入金を記載しています。  
 平成24年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

## 5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
活動指標	目標	・市内で発生する廃棄物が適正に処理されていると感じている市民の割合	-	-	-	-	72.0
	実績		69.4	72.3	76.0		
活動指標	目標	・ごみの減量化・再資源化に対する認識が高まったと感じたりサイクルプラザ利用者の割合	-	-	-	-	78
	実績		73.1	76.7	76.0		
	目標						
	実績						
考察及び今後の対応方針		・資源物の中間処理過程での一層の品質向上に努める。					

## 6. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
・平成24年2月で引き渡し後3ヵ年の保障期間が満了となることから、平成24年度以降、施設・機器の維持管理経費が増大する。	

## 7. 担当室による点検【事務事業をより良く(最適化)するために】

(1) 協働の取組(「新しい公」の推進)	
協働等は実践していますか 一部実践している	協働等の主な相手先について 事業者
協働等の主な形態について(現在および今後の可能性) 委託[業務量の50%以上相当]	協働等の今後の取組について 継続実施
備考欄(工夫・改善等を記載)	
(2) (現在の事業費の範囲で) 効果を高める方法や工夫等を、さらに図ることができますか 検討の余地がある	・ごみの発生抑制に向けた啓発等
(3) 事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を図ることができますか 検討の余地がある	
(4) 新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図ることができますか 検討の余地がある	・再商品化物の更なる品質向上を目指す。
(5) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか 検討の余地がある	

## 8. 今後の事務事業の方向(点検を踏まえた担当室による内部評価)

総合評価(事業の展開方法) 継続(事務改善)	特記事項
(1) 短期的な(平成23年度)事務事業の工夫・改善など ・安定した運転を行うための適正な維持管理。	・効率的な施設運営が行えるよう先進地視察を行うことが必要である。
(2) 「継続(現行)」の理由、中長期的な(平成24年度以降)事務事業の工夫・改善など ・運転管理業務等の一層の効率化を図る。	



# 事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	7807	(H.22)No.	
-----------	------	-----------	--

事務事業名		中継所費(経常分)	
担当部局名	担当室名	室長名	連絡先
伊賀南部環境衛生組合事務局	業務室	酒井 隆郎	0595-53-1120
新・継	事業期間	根拠法令等	
継続	平成 年度 ~ 平成 年度		

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
特別及び企業会計、組合	

## 1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	2 美しい自然に包まれた、憩いと潤いのある暮らし
	基本政策	2 循環型社会の創造
	施策	3 廃棄物処理
	小施策	1 ごみの適正処理
重点施策コード		

## 2. 予算区分

会計区分	事業コード	903601
伊賀南部環境衛生組合一般会計(中事業名)	予算書事業名	
款 環境衛生費	中継所費	
項 清掃費	(小事業名)	
目 中継所費	中継所費(経常分)	

## 3. 事務事業の概要

事業概要	
・名張市内の家庭ごみを中継し運搬する。	

めざす効果(事業目的)	
・適正に保管運搬する。	

## 4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成22年度 (実績・決算見込)	平成23年度 (計画・作成時予算額)	現在の実施手法(複数選択可)			
			平成24年度 (計画)	平成25年度 (計画)	平成26年度 (計画)	
主な事業の実績・計画	[事業内容(事業量)・事業費] 施設の管理運営  <主な経費> 燃料 533千円 修繕料 1,146千円 交通警備委託 116千円	[事業内容(事業量)・事業費] 施設の管理運営  <主な経費> 燃料 600千円 修繕料 1,200千円 交通警備委託 278千円	市が直接実施 業務委託(全部・一部)により実施 指定管理 補助金・交付金 その他 ( )			
			施設の管理運営	施設の管理運営	施設の管理運営	
<b>直接事業費</b>	<b>4,972千円</b>	<b>6,030千円</b>	<b>2,780千円</b>	<b>2,780千円</b>	<b>2,780千円</b>	
財源内訳 (千円)	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他( )					
一般財源	(0) 4,972	6,030	2,780	2,780	2,780	
人工数	職員	0.40人	2.40人	2.46人	2.46人	2.46人
	臨時職員等	5.00人	2.00人	2.00人	2.00人	2.00人
<b>概算人件費</b>	<b>(0千円) 11,420千円</b>	<b>20,920千円</b>	<b>21,358千円</b>	<b>21,358千円</b>	<b>21,358千円</b>	
<b>+ 総事業費</b>	<b>(0千円) 16,392千円</b>	<b>26,950千円</b>	<b>24,138千円</b>	<b>24,138千円</b>	<b>24,138千円</b>	

概算人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。  
 平成22年度の( )内の数値は、21年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。  
 企業会計の財源内訳の一般財源欄は、一般会計繰入金を記載しています。  
 平成24年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

## 5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
活動指標	目標	搬入台数	台			13,000	12,000
	実績						
	目標						
	実績						
	目標						
	実績						
考察及び今後の対応方針							

## 6. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
・平成27年度までに、ごみ受入れ規模の縮小や施設の廃止に向けた検討が必要。	

## 7. 担当室による点検【事務事業をより良く(最適化)するために】

(1) 協働の取組(「新しい公」の推進)		備考欄(工夫・改善等を記載)
協働等は実践していますか 実践していない(適当ではない)( へ)	協働等の主な相手先について	
協働等の主な形態について(現在および今後の可能性)	協働等の今後の取組について 継続実施	
(2) (現在の事業費の範囲で) 効果を高める方法や工夫等を、さらに図ることができますか 現在の手法が妥当である		
(3) 事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を図ることができますか 現在の手法が妥当であり、連携や統合は困難である		
(4) 新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図ることができますか 新たな財源確保や事業に係る負担の見直しは困難である		
(5) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか 困難である		

## 8. 今後の事務事業の方向(点検を踏まえた担当室による内部評価)

総合評価(事業の展開方法) 継続(現行)	特記事項
(1) 短期的な(平成23年度)事務事業の工夫・改善など	
(2) 「継続(現行)」の理由、中長期的な(平成24年度以降)事務事業の工夫・改善など ・平成27年度までに、事業の縮小あるいは廃止について検討することが地元地域との事前協議での設置条件となっているため、当面は現行どおり継続するが、将来的には廃止に向けた検討を進める必要がある。	

# 事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	7808	(H.22)No.	
-----------	------	-----------	--

事務事業名		ストックヤード整備事業(投資分)			
担当部局名		担当室名		室長名	連絡先
伊賀南部衛生組合事務局		業務室		酒井 隆郎	0595-53-1120
新・継	事業期間		根拠法令等		
継続	平成	年度 ~	平成	年度	

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
特別及び企業会計、組合	

## 1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	2	美しい自然に包まれた、憩いと潤いのある暮らし
	基本政策	2	循環型社会の創造
	施策	3	廃棄物処理
	小施策	1	ごみの適正処理
重点施策コード			

## 2. 予算区分

会計区分		事業コード	903801
伊賀南部環境衛生組合一般会計		(中事業名)	予算書事業名
款	環境衛生費	ストックヤード整備費	
項	清掃費	(小事業名)	
目	ストックヤード整備費	ストックヤード整備(投資分)	

## 3. 事務事業の概要

事業概要	
<p>・名張市青蓮寺地内の旧清掃工場を解体撤去し、跡地に紙・繊維類のストックヤードを整備する。</p>	

めざす効果(事業目的)	
<p>・循環型社会にふさわしい廃棄物リサイクル処理システムを構築する。</p>	

## 4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成22年度 (実績・決算見込)		平成23年度 (計画・作成時予算額)		現在の実施手法(複数選択可)			
主な事業の実績・計画	[事業内容(事業量)・事業費]		[事業内容(事業量)・事業費]		120	現在の実施手法(複数選択可)		
	・ストックヤード建設実施設計業務委託 6,163千円		・旧伊賀南部清掃工場解体撤去工事施工監理業務委託 2,300千円			市が直接実施		
	・旧伊賀南部清掃工場解体撤去工事施工監理業務委託 4,000千円		・ストックヤード建設工事施工監理業務委託 4,000千円			業務委託(全部・一部)により実施		
	・旧伊賀南部清掃工場解体撤去請負費 62,800千円		・旧伊賀南部清掃工場解体撤去請負費 42,095千円			指定管理		
			・ストックヤード建設工事請負費 100,000千円			補助金・交付金		
					その他 ( 清掃施設整備事業債 )			
					平成24年度 (計画)	平成25年度 (計画)	平成26年度 (計画)	
<b>直接事業費</b>		<b>72,963千円</b>	<b>157,715千円</b>					
財源内訳 (千円)	国庫支出金	67,994	0					
	県支出金	0	0					
	地方債	0	117,000					
	その他( )	0	0					
一般財源	(0)	4,969	40,715	0	0	0		
人工数	職員	0.55人	0.55人					
	臨時職員等	0.00人	0.00人					
<b>概算人件費</b>		<b>(0千円) 4,015千円</b>	<b>4,015千円</b>	<b>0千円</b>	<b>0千円</b>	<b>0千円</b>	<b>0千円</b>	
<b>+ 総事業費</b>		<b>(0千円) 76,978千円</b>	<b>161,730千円</b>	<b>0千円</b>	<b>0千円</b>	<b>0千円</b>	<b>0千円</b>	

概算人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成22年度の( )内の数値は、21年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。企業会計の財源内訳の一般財源欄は、一般会計繰入金を記載しています。平成24年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

### 5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
	目標						
	実績						
	目標						
	実績						
	目標						
	実績						
考察及び今後の対応方針							

### 6. 事業を取り巻く環境

<b>事業環境の今後の変化</b> (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	<b>市民・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見</b>
平成23年6月末までに旧清掃工場の解体撤去を完了させ、平成23年度末までにストックヤードを建設整備することとしているが、その後は紙・繊維類ストックヤード施設の効率的な管理運営を図る必要がある。	解体跡地を含めた施設周辺全体の跡地利用について、青蓮寺地区、星川地区、すみれが丘地区からそれぞれ要望が出されている。

### 7. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

<b>(1) 協働の取組(「新しい公」の推進)</b>		備考欄(工夫・改善等を記載)
協働等は実践していますか <input type="text" value="実践していない(適当ではない)( へ)"/>	協働等の主な相手先について <input type="text"/>	
協働等の主な形態について(現在および今後の可能性) <input type="text"/>	協働等の今後の取組について <input type="text" value="市が直接実施"/>	
<b>(2) (現在の事業費の範囲で) 効果を高める方法や工夫等を、さらに図ることができますか</b> <input type="text" value="現在の手法が妥当である"/>		
<b>(3) 事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を図ることができますか</b> <input type="text" value="現在の手法が妥当であり、連携や統合は困難である"/>		
<b>(4) 新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図ることができますか</b> <input type="text" value="新たな財源確保や事業に係る負担の見直しは困難である"/>		
<b>(5) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか</b> <input type="text" value="困難である"/>		

### 8. 今後の事務事業の方向(点検を踏まえた担当室による内部評価)

<b>総合評価(事業の展開方法)</b> <input type="text" value="平成23年度事業完了予定"/>	<b>特記事項</b>  平成24年度以降、ストックヤード施設の管理運営が必要。 年間事業経費予定 3,640千円
<b>(1) 短期的な(平成23年度)事務事業の工夫・改善など</b> <input type="text"/>	
<b>(2) 「継続(現行)」の理由、中長期的な(平成24年度以降)事務事業の工夫・改善など</b> <input type="text"/>	